

普及活動情勢報告（令和6年10月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

高品質な酒米を目指して最後まで頑張ろう！ ～土佐市吟の夢栽培技術研究会現地検討会～



9月18日、土佐市出間地区の収穫直前のほ場で、土佐市吟の夢栽培技術研究会が現地検討会を開催し、生産者11人の参加がありました。

中央西農業振興センターは、今作の振り返りを目的に、気象の推移と病害虫の発生状況を報告、併せて、収穫・乾燥調製のポイントについて説明しました。

集まった参加者からは、「出穂以降高温乾燥が続いて管理が難しかった」、「最後まで手を抜かず仕上げてください！」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も土佐市吟の夢栽培技術研究会の高品質な酒米作りの支援を行っていきます。

昨年を振り返り、今後の経営について検討 ～土佐市サポートチームによる新規就農者のほ場確認・面談を実施～



10月2日、土佐市でピーマンやショウガを栽培している新規就農者2人を対象に、関係機関や農業委員等で構成するサポートチームで、ほ場確認および面談を行いました。

面談では、経営実績にもとづいた昨年の振り返りや現在の営農状況と課題、今後の目標について共有しました。

新規就農者からは「6園芸年度で思い通りの結果が出せた」、「地主から農地を借りてほしいとの声もあり、次作は規模拡大していく」等の声がありました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と連携して新規就農者の早期経営安定に向けて支援していきます。

ユズの優良園地をみんなで守り次世代につなごう ～いの町清水地区のユズ優良園地調査～



いの町吾北地域は急傾斜や狭い農地が多いが、比較的広く優良なユズ園地も存在します。そこで、基幹品目であるユズ振興に欠かせない優良園地を地域の財産と考え、永続的に利活用されるようにするため、関係組織及び生産者で「ユズ優良園地マッチングセンター」を設置し、担い手への園地流動化を図っています。

農業改良普及課では、10月9日に、生産者、関係機関とともに、いの町清水地区のユズ園地の現地調査を実施し、8園地を選定しました。今回の調査で吾北地区の全エリアの調査を終了しました。

今後は、これらのデータをもとに担い手と優良農地のマッチングと継承を推進していきます。

地元自慢の野菜！ショウガについて学ぼう
～いの町立伊野小学校出前授業を開催～



10月9日、いの町立伊野小学校にて、いの町役場、農家、JAの関係者とともに出前授業おこない、3年生の生徒41名が地元の特産品であるショウガについて学びました。

農業改良普及課からは、高知県野菜の出荷量や県内の主産地、ショウガの全国シェア率やスマート農業の活用等を説明しました。

生徒の関心は、ドローンを活用した農薬散布や農家の苦勞について寄せられました。

日頃触ることのない、偽茎のついたショウガに生徒だけでなく先生方も興味津々で、これまで以上に身近に感じてもらうことができました。